

市議会だより おおまち

202号

令和8年5月1日発行
3月定例会号

特集 3月定例会 令和8年度予算可決 ……	2ページ
総合計画特別委員会設置 ……	12ページ
議会モニター制度 ……	13ページ



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも
見ることができます



表紙写真 | 5月の大町

残雪輝く北アルプスに見守られ、一苗に心を
込める補植作業 撮影者：柏原清

表紙の写真を
募集します！

新年度予算（議案第36～44号）に関する委員会での審査や意見をまとめました。予算審査から見える令和8年度の新たな取り組みや問題点の主なものをお知らせします。未来の大町市をつくるための取り組みや、予算審査で話し合った内容をお伝えします。

「塩の道」道路・美装化工事

新街なみ環境整備事業計画に基づく市道八日町五日町線の道路美装化工事。

委員会での審査内容

- 問** 市道八日町五日町線の道路美装化工事について、説明を。
- 答** 新街なみ環境整備事業計画の中で、千国街道（塩の道）を中心軸に位置付けている。八日町・五日町通りから、本通りに至る部分が塩の道であり、舗装の補修要望もあることから、優先的に整備を行う。
- 問** 舗装工法で工夫する点は。
- 答** 地元の意見をうかがい、塩の道をイメージできる舗装にする。石張り風のデザインで、騒音と振動の低減をはかる。



五日町通りを美装化（イメージ図）

新街なみ環境整備事業

9,839万円



市民課窓口のワンストップ化

住民の異動時に、住民異動届を記入する負担を軽減するため「書かない・窓口システム」を導入する。

委員会での審査内容

- 問** 事業目的は。
- 答** 転入・転出・出生などに関する申請書を網羅するもので、職員が対面で聞き取り、入力を行うことで、申請書が作成できる運用方法を整える。

書かない窓口構築

5,568万円



市役所旧食堂を市民憩いの場に

庁舎旧食堂木質化設計工事業務

652万円

委員会での審査内容

- 問** 具体的な内容は。
- 答** 現在、市庁舎内には利用者向けの休憩スペースがないため、旧食堂を整備し活用する予定だ。森林環境譲与税を導入し、木質カウンターやテーブル設置などを検討している。



利用していない教員住宅を順次処分へ

教員住宅の適正管理を行う。

教員住宅管理事業

427万円

委員会での審査内容

- 問** 残置物処分の詳細は。八坂の住宅などは移住者向けに活用できないか、なぜ解体を選ぶのか。
- 答** 入居率は約半数に留まっており、公売の手順を進めるために整理を行う。八坂の住宅はアスベスト含有や建物の老朽化が激しく、維持コストを考え解体を選択した。今後は更地にした上で、売却や公用目的での活用を企画財政課と協議し、適正な財産管理を進める。



大町市予算を可決

～市の取り組みをもっと身近に～

令和8年度予算の point! 紹介

一般会計 187億2,000万円 企業・特別会計 127億5,060万円

人件費、物価高騰により病院経営厳しく

人口減少や受診控えにより、令和8年度の患者数は入院・外来ともに約5%の減少を見込み予算を編成。

病院事業

60億5,537万円

委員会での審査内容

- 問** 収益を下方修正した理由は。コロナ禍以降の受診控えはどのような状態で表れているのか。
- 答** 人口減少に比例した減少に加え、コロナ禍以降、軽症なら受診せず自宅で療養する傾向が強まった。医師2名の退職予定もあるが内科はチーム制で対応し、収益への影響は最小限に留める方針だ。また、院長直轄の総合戦略室を立ち上げ、事務部門の組織再編により経営強化を急ぐ。



市立大町総合病院



小学校の給食費、無償化となるか!?

市立小学校全児童の給食費が無償化になる見込み。（審査時点）

小中学校給食費

1億1,462万円

委員会での審査内容

- 問** 完全に無償となる見込みか。
- 答** 国の支給分はすでに決定している。市の公費負担分は物価高騰の交付金を活用し、保護者負担は求めないことを検討している。



産後ケア事業、訪問型の新設

産後1年以内の母子を対象に、助産師が自宅を訪問して授乳指導や育児相談を行う「訪問型」を新たに開始する。

妊娠・出産・育児の切れ目のない支援事業

298万円

委員会での審査内容

- 問** 「訪問型」新設の理由、内容は。
- 答** 宿泊型や通所型は外出の支度をするのが困難という声があり、自宅での安定した育児を支援する。産後1年間で7回まで利用可能。



バス現在置をスマホで確認可能に

学校再編に伴うスクールバス路線拡充に合わせ、保護者がスマホアプリでスクールバスの現在地をリアルタイムで確認できる仕組みを導入。

スクールバス運行管理システム導入

119万円

委員会での審査内容

- 問** いつから使えるのか。
- 答** 入学には間に合わないが、契約を進め年度内の早期稼働を目指す。



一般質問

各議員の一般質問の様子を大町市ホームページ内の議会中継映像で見ることができます。
二次元バーコードからアクセスしてください。

次期への橋渡し、市長最後の予算



政友クラブ 大竹 真千子

Q 第5次総合計画の最終年度、次期への橋渡しとなる令和8年度の予算編成におけるメリハリある狙いと市長の覚悟、限られた財源の中で未来への投資のバランスは何か。

A 人口減少社会への対応と、持続可能な地域社会の実現に重点を置いた。書かない窓口導入や子育て支援、公共施設のLED化などへ手厚く資源を配分し、インフラ維持と未来への投資と財政の健全化のバランスを図り時代の変化にも即応する。

Q 民間の知見やスピード感を市の課題解決に生かすため、企業版ふるさと納税の「人材派遣型」を活用し、専門家を庁内に迎え地方創生の推進力として導入していく考えは。

A 実質的な財政負担なしで民間の専門人材を任用でき、市役所庁内



次代へ繋ぐ街なみ環境整備事業。第一歩として整備が始まる五日町

に新しい風を吹き込み、組織の意識改革にも資する有効な制度と認識している。市のブランド向上など具体的な分野で活用できるか検討する。

Q 街なみ環境整備事業について属人的にならない長期の伴走体制の構築と、市長が思い描く十年後の大町市のまちなみの未来の姿についてのどのような展望を持っているのか。

A 100人衆会議等と連携し客観的かつ持続的な推進体制を維持する。中心市街地に住む人に誇らしく訪れる人には歩きたくなる空間として定着し自律的に維持される街を創る。

へき地こそ保育所が必要



日本共産党大町市議員 宮田 一男

Q へき地(八坂・美麻)地域における保育所の役割は何か。

A 保育所再編に関する説明会では多岐にわたる意見があった。保育所は保護者が安心して子供を預けられる環境を確保する上で重要な役割を担っており、へき地においても変わるものではない。

Q 地域に保育所のあることが、移住定住先を選択する上で重要な要件となる。へき地こそ保育環境の整備が必要ではないか。

A 子育て世代にとって保育環境は移住先選定の重要な要素である。一方、未満児保育の受け入れが不十分で転入希望者の相談に応じきれない課題がある。再編に伴う幼保小の接続への不安や不登校対策の重要性も踏まえ、説明会での意見を真摯に

受け止め、あり方検討会で方向性を示したい。

災害時のトイレ確保は急務

Q 災害時のトイレ確保計画は。

A 市独自の計画はないが、国や県が示す基準に基づいて、簡易トイレ等の備蓄を計画的に進めている。

Q 災害に備えて、家庭での携帯トイレの備蓄を進めると共に学習する機会を設けることが必要では。

A 広報での周知と避難所開設訓練等の機会を通じて行う。



八坂地域全体で子育てを応援している「たけのこ保育園」

ふるさと納税、本気出せ



峻嶺会 傳力 健

収入増と、返礼品開発で地域経済をまわせ

Q 令和6年度決算における当市のふるさと納税額は1億9千万弱。77ある県内自治体にあつては34番目、決算額に対する比率は1%程度で49番目。県内財政類似団体と比べてかなり低い。分析検証はしているか。

A 農産物の生産に限りがある。また、知名度の向上に力を尽くす。

Q 制度所管は企画財政課だが、農業者や商工業者と近い農林水産課やまちづくり産業課等が返礼品の商品開発や協力業者の発掘をすべきではないか。

A 返礼品開発については、地域振興部はじめ各担当課で一層力を入れ、企画財政課へつなげていく。

Q クラウドファンディング型や

企業版ふるさと納税は、市の事業について寄付を募る制度である。岳陽高校への支援については教育委員会、登山道整備は観光文化課、その他それぞれの部署で魅力ある事業を市外に発信し寄付を募れないか。

A 市の事業の魅力を外へ発信し、制度の活用をしていく。

Q 実現可能な長期計画と具体的な短期計画を立てるべきでは。

A 令和13年度には寄付額5億円超を目標に計画を立て、庁内連携と事業者との協力を強化していく。

順位	自治体	全額項目	寄付額(百万円)	一般財源収入(百万円)	決算額	割合	割合
1	須賀川市	414	4,705	32,142	10	14.03%	2
2	中野市	1140	2,293	26,718	12	8.58%	7
3	軽井沢町	139	2,005	20,700	15	9.66%	6
4	豊丘村	173	1,854	1,185	34	23.08%	1
5	野々原町	239	1,268	17,276	19	7.03%	10
6	長野市	274	1,117	170,380	1	0.65%	58
7	諏訪市	300	1,039	9,620	24	10.79%	4
8	長野市	298	759	34,415	8	2.30%	27
9	小布施町	414	759	7,114	35	10.54%	5
10	塩尻市	443	700	52,801	5	1.33%	37
11	神代田町	455	673	9,227	6	7.24%	3
12	野沢新田町	461	658	48,865	6	1.35%	36
13	新田町	479	648	55,954	4	1.16%	45
14	白根村	482	629	7,238	33	7.91%	8

大町市の17年間のふるさと納税総額は16.7億円。豊丘村の単年度とほぼ同額

健康増進と学習の機会を奪うな



市民クラブ 小澤 悟

Q スポーツ協会から出された要望書の内容は。

A 5項目の要望で、4月1日より施行する大町市体育施設及び管理に関する要望である。協会に対する説明や意見交換の場が十分でなかったことへの苦言をいただいた。要望に対しては調整に時間を要する課題もあることから、今後の方向性など速やかに検討し、スポーツ協会に回答する。

Q スポーツ協会は定期的な意見交換を求めているが実施は可能か。

A 最低でも月に一度、意見交換をするということが必要だと思う。

Q 当市が考える公共サービスの公平性とはどのようなものか。

A 公平性の観点からも一定の負担をいただきたい。

Q 公民館の減免率の改定はいつ頃を予定しているのか。

A 令和9年4月の予定である。

Q 使用料を負担していただかなければ、維持管理できないのか。

A そうではない。

Q 公共施設の原点、本質に沿って市民が納得される条例改定にしたい。

A 学校、社会教育は、すべての方々に「学ぶ機会」をつなげることを提供していくのが教育行政の大事な部分である。広い視点で検討していく。



サークル活動がさかんな平公民館

二次元バーコードから動画が見られます。

次ページも、一般質問

市民が望む具体的な市政運営を



無所属クラブ 植松 悠一郎

市民意識を反映したメリハリのある市政運営を

Q 市民意識調査はどんな位置づけのものか。

A 市民ニーズや地域課題を合理的にとらえた重要な資料の1つ。

Q 調査結果をどのような手続きで市政や計画に反映しているのか。

A 電子データを全庁で共有し、活用できるよう努めている。各種計画にも反映することとしている。

Q 反映するための具体的な手続きはあるか。

A 各課がそれぞれ比較し、どうしたらよくなるか検討している。

Q 過去から改善している分野もあるが、その理由を分析しているか。

A 重要度が高い施策として取組んだ成果が出ている。

Q 74項目ある施策の中で重点項目は39もある。もっと絞るべきではないか。

A 各種意見を踏まえて洗い出した必要なもの。多くも少なくもない。同じ重点項目でも長い間停滞している項目もある。違いは何か。

A 努力はしているがすぐに効果の出るものではない。

Q そろそろ7回から数えると20年経つ。具体的な対策を打った例はあるか。

A 毎年度見直しを行う実施計画の策定や予算編成に反映している。



令和7年度 第11回市民意識調査 大町市
20年ほど前の第7回から改善していない項目が数多く目立つ

奨学金制度等はどのくらいあるべきか



政友クラブ 西澤 和保

若者が大町で将来設計を描ける為の抜本的改善を

Q 奨学金の利用実態がない。問題の検証と改善への取組は行うのか。

A セーフティネットではあるが、教育委員からの指摘もあり貸付条件の緩和や周知方法も含め利用しやすい制度への見直しを行いたい。

Q 県の奨学金支援制度と連携し、企業の若手人材確保と、奨学生の負担軽減策を兼ねた若者人口の増加策に本腰を入れて検討すべき時期と考えるか。

A 地元企業等へ制度の仕組みを周知すると共に、若者の移住定住への取組と、若者・子育て世代の人口増に向けた施策も考えていきたい。

Q 移住定住者への住宅取得に課題がある。どう対策をしてゆくか。

A 8年度に地域おこし協力隊を採用し、空き家バンクの取組を進める。土地取得問題には土地開発公社等による市有地の売却も含め、若者世代の定住策に繋がる検討をしたい。

Q 出産には経済的負担も大きい第一子への出産祝い金の増額を再度検討はできないか。

A 現状では増額は検討していない。子育て施策全体のバランスや持続性等を考慮しながら、出産・子育て支援の充実に取り組んでいきたい。



若者世代が大町に戻り、家庭を築くことができる取組が絶対に必要

病院を元気に



無所属クラブ 高橋 正

ここ10年ほどの病院の経営状況の変化はどうか。

A 平成29年度「資金不足比率」が22%を超え、経営は極端に悪化した。経営健全化計画の策定が義務付けられた。病床数を削減。施設基準を変更。在宅療養支援など、収益の向上を図った。医療費用の適正化にも取り組んだ。平成30年度は約5億円の赤字だった。

令和元年は、各種取り組みで黒字となった。令和2年度新型コロナウイルスが発生。外出自粛で患者は減ったが、コロナ対応で、国からの補助金・特別加算などで黒字。市からの借入も4億円追加され、資金不足は解消した。その後続いた補助金・特例措置で黒字を維持。その後新型コロナウイルスが終息に向かい、補助金が縮小・廃止。令和6年度は1億3千万円の純損失



病院を元気に

となった。預金も大幅減で現在に至る。

Q 病院長が経営にかまけることは損失。経営は経営のプロパーを養成すべきで、院長は医療に集中すべきと思うがどうか。

A (市長) 藤本先生は病院長と事業管理者の重要職を担ってもらっている。病院の状況を考えると、医療と経営の切り離しは困難。一方、藤本先生ひとりでは適切ではないと思う。この4月から総合戦略室を設置し機能を強化していく考えである。

合併20年、地域の特色を活かせ



政友クラブ 中村 直人

Q 各保育所には地域の方達が、イベント、草刈り、保育補助等関わっている。再編が進む中で、取り組みを継続できるか。

A 一層強化の方針を検討する。八坂地区では川手地区からの通園時間の課題などが解決されていない。再編においての対応は。

A 重要な課題と認識。再編案は確定ではない。慎重に進めたい。

Q 根本の課題は保育士不足。岳陽生アンケートは、進路予定で保育士が3位。奨学金の拡充等できないか。

A 受入体制の強化と就職につながる施策を検討する。

Q 水道事業は、合併時の説明会資料で「事業の統一を目指す」とされている。



各地区の魅力を活かした、子育て・移住施策等の重要性は高まる

用語解説

- ※1 美遊：ぽかぽかランド美麻に隣接する多目的交流施設。
- ※2 住民自治組織：地区住民が主体となり、地域課題の整理や事業実施を担う組織（地域づくり協議会・会議等）。

二次元バーコードから動画が見られます。

次ページも、一般質問

官製談合事件・真相究明は



無所属クラブ 大和 幸久

Q 牛越市長が諮問した、大町市官製談合防止等対策委員会は、「大町市発注工事に係る官製談合等の原因分析及び再発防止に関する報告書（以下報告書）」を公表した。この報告書の電気工事の地域要件の見直しの項目に、「30～40年前から公共工事の落札業者を事前に決めることが慣例であった」と証言を記載している。この点について市民本位の立場から説明すべきだ。

A 捜査権も何一つない行政において、これ以上の説明は不可能であり、行わない。関係事業者に対する調査を実施したが解明につながる内容は承知していない。



真の再発防止には、市民目線に立った真相究明が不可欠だ

と証言されている。この点について市長はどの様な確認をしているか。
A 同じ入札に参加した企業には市が聞き取り調査をしている。非公表という大前提で調査している内容が公表しない。事実について聞き取りはしている。談合情報については、国でその場合のスキームが決められている。今回のケースでは、地裁で陳述のあった。その段階で県警が承知しているところであると認識している。それ以上の捜査権のない市ではどうしようもないのが現状だ。

用語解説

※3 発達支援地域ケアパス：発達に特性のある子どもとその家族が、乳幼児期から成人期まで、医療、福祉、教育、就労等の支援を切れ目なく受けられる連携支援体制。

発達障がい理解と意識啓発を



おた 太田 昭司

Q 発達障がいを「多様性」と捉えるニューロダイバーシティの視点を市はどのように考えるか？

A 脳や神経に由来する様々な特性の違いを、多様な個性と捉え、この違いを社会の中で活かしていくこととする考えである。この考えを、障がい者福祉に限らず、市のあらゆる施策に活かしていく必要がある。

Q 発達障がいについて多くの市民が理解することが重要だ。発達障がい者サポーター養成講座の開催や啓発活動を進めるべきではないか。

A 具体的な啓発活動について研究していく。



長野県の発達障がい支援のシンボル、「結マーク」

A 伊那市などの先進事例を参考に検討を進める。
Q 精神障がい者の支援においては、専門的知識がなければ正しい支援につなげることは難しく、むしろ悪化させてしまうことさえ危惧される。ぜひ、専門職または経験豊かな人材の配置とともに、人材育成の強化を求めます。
A 現在、市には専門職はいないが、福祉事務所としては組織的な対応により相談・支援に努める。

受益者負担と芸術祭を問う



日本共産党大町市議員 栗林 陽一

Q 受益者負担の基本的な考え方で導入基準は何か。

A 利用する人としていない人の負担の公平性確保が基本であり、公共性と市場性の視点から判断する。

Q 税による共通負担との関係はどう整理するのか。

A 施設の目的やサービス内容に応じ、公費と受益者負担の割合を設定している。

Q 学童保育の利用料(月額千円)導入の理由は何か。
A 利用者負担の公平性や持続可能な運営の観点から導入し、財政効果は約4%としている。

Q 利用控えや低所得世帯への影響はないか。

A 現時点で利用減は見込まれておらず、ひとり親世帯などへの減免

制度を設けている。

Q 芸術祭への市の支出総額は。

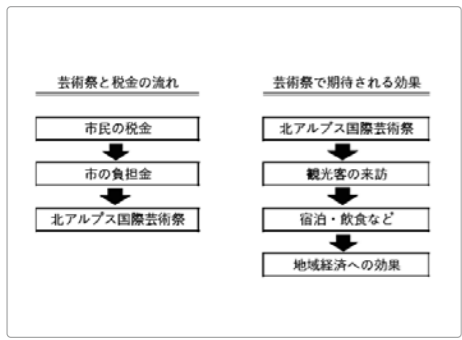
A 負担金は約5億9千6百万円、関連経費を含め約7億円である。

Q 費用対効果はどのように検証しているか。

A 観光消費額や経済波及効果の試算、来訪者アンケートなどにより評価している。

Q 市民生活との関係はどのように位置付けているか。

A 総合計画に基づき、各施策はいずれも重要なものとして位置付けている。



税金の使い道として芸術祭は適切なのか、市民的な議論が必要だ

部活動は教育の一環ではないのか



政友クラブ 山本みゆき

Q 地域展開推進計画のモデルケースの選定は。

A すでに地域クラブになりうるような団体があったため、選定していない。

Q 運営団体や実施団体の候補はどのように整理され、最終的に想定している役割分担と責任範囲は。

A 学校部活動地域展開推進協議会が運営団体として事務を担当し、実施主体である地域クラブの指導者確保や育成管理、活動場所の確保調整業務など、運営をサポートする業務を担い、運営団体に属する地域クラブ運営全般において責任を担う。

Q 指導者研修、保険、報酬等の支援策は。



子どもたちの「やりたい、楽しみたい」をどう叶えていくのか

A 認定クラブ指導者には活動に応じて、指導者謝金を支払う。

Q 中学校の教員が地域クラブの指導者となる場合は職務兼業ができるのか。また周知はしているか。

A 指導者資格があり、やる気があれば、兼業届により報酬があるが、教育委員会として周知不足である。

Q 施設の使用料は予約者によって料金が発生するのはなぜか。

A 部活動で申し込んだが、クラブチームで申し込んだかで料金に差が生じる。誤解があり保護者には説明している。

二次元バーコードから動画が見られます。

次ページは、一般質問と追跡リポート

市民の悲しみ辛さに寄り添う為に



堀堅一

はほとんどが大町市民だ。従ってその辛い悲しい気持ちに寄り添えるのも市職員皆さんしかいない。

A 固定資産税の減額は地方税法に基づき、将来についての評価減額にできない。議員提案の給付金については、趣旨は理解できる。しかし、同様の給付金の事例がない上に、財源も必要のため、容易には実現できない。将来に不安を抱える皆さんの声に耳を傾け、用地補償や住み替えなど将来への確かな道筋を描けるようにできる限りのサポートに職員一同力を尽くす。

Q 昨年12月の松糸道路の発表と同時に道路隣地の売買は減り、明らかに取引価格も安くなり流動性そのものが悪くなっている。該当の市民に対して固定資産税の減額を検討すべきだ。「70歳を過ぎた高齢者にとっていつ土地建物の買い上げがあるのかわからない中、80歳過ぎてからの引っ越しや生活の立て直しは、大変不安だ」との声もある。長野県には希望する市民に対して土地の買い上げを早めてあげられるように進言してもらいたい。



土地の買い上げまでに10年もかかれば高齢者は再出発できない

Q 持続可能な大町農業の再生は。
A 農業は基幹産業だが、高齢化による離農や担い手の確保不足、生産資材の高騰、農業所得の不安定など様々な課題があり、地域経済の発展や食料基盤の確立を図ると共に農業の持続可能な成長を実現することが重要とされる。これから国の農業施策は大きな転換期を迎え、国や県の動向を注視し、第6次総合計画に反映させ、大町市の基幹産業として大町農業を明確に位置付けたい。



中牧盛登

境を強力にアピールし、就農希望者の掘り起こしを図り、担い手の確保に務める。加えて、支援対策として、インフラ整備や省力化技術の導入や中核農家や集落営農組織、新規就農者などの連携対策の構築に努める。

Q 有害鳥獣対策は。
A 農業被害の二ホンザル対策はICT技術により捕獲数が増え、被害額は3分の1に減っているが、二ホンジカによる被害額、生息数が増加しており、被害防除対策や個体調整を複合的に実施する。国の重点支援地方交付金で、有効な支援策となるよう、市として検討する。



令和7年度鳥獣対策優良表彰

大町農業 静かな崩壊に向かう

あの質問はどうなった？

一般質問で「検討する」と答弁があったあの質問。その後の進捗はどうなっているのか追跡調査します。

木崎湖市営駐車場の適正利用を

令和5年9月定例会の一般質問

質問 親しみやすい木崎湖へ改善を

気軽に使用できる状態ではない。駐車場の使用方法の看板設置を求める。

答弁 看板等の設置を検討する

安全面や適正な管理運営をする。

実施済

令和6年度に看板を設置

観光地として適正に利用できるように管理運営をする。

どうなった？

最低限のルールは必要。市民・観光客に、周知徹底を



小澤 悟

便利な市民バスへの改善を

令和6年9月定例会の一般質問

質問 市街地循環線の改善を願う

多くの高齢者が暮らしている市街地で、市民バスの利用者が少ないのはなぜか。

答弁 循環線の運行コースに課題あり

現状の循環線は、利便性を考えたコース設定になっていないので見直したい。

検討中

市民バス全体のあり方を再検討する

市民バス全体の現状と課題を分析し、令和8年度から9年度にかけて、運行方法やルートの見直しをする。

どうなった？

市民バス担当者の動きに期待する



中牧 盛登

土地の乱開発を防ぐ手立てを講じよ

令和6年6月定例会の一般質問

質問 土地利用に関する条例制定に向けた考えは

投資流入や乱開発に備え、適正な土地利用の誘導と規制を図る条例を制定する考えはないか。

答弁 現行法での対応と条例制定の検討

用途区域外は既存法令で対応し、不十分な場合は地区計画等を活用。条例は松糸道路の計画決定後の土地利用状況を踏まえ制定を検討中である。

検討中

都市計画決定後に条例制定を検討

松糸道路のルートや都市計画の決定後、今後の土地利用の状況を踏まえて条例制定を検討する。

どうなった？

乱開発を防ぎ良好な景観を守るため、条例制定の早期検討を望む



大竹 真千子

市民と議会の意見交換会の開催報告

「話そう」「聞こう」「つながろう」

みんなのギカイ

令和8年2月、意見交換会を大町・平・常盤・社地区、八坂地区、美麻地区の市内3会場で開催しました。各会場に多くの市民の皆様が参加していただきました。意見交換会では、はじめに傳刀議長から議会報告があり、議会モニター募集や市民の声を届ける議員の数について、市民の皆さんに意見を求めました。また市民の皆さんからは地域課題に関する多様な意見が寄せられ、3会場で合わせて42名が参加いただきました。いただいたご意見は整理して行政へ送付し、回答は後日、市のホームページ等で公開します。



美麻地区参加者10名



八坂地区参加者19名



大町・平・常盤・社地区参加者13名

総合計画特別委員会

委員長 山本 みゆき
副委員長 大和 幸久

西澤 和保 傳刀 健
一本木 秀章 堀 堅一
太田 昭司 中村 直人
大竹 真千子 栗林 陽一
宮田 一男 小澤 悟
中牧 盛登 二條 孝夫
高橋 正 植松 悠一郎
(3月末辞職)

総合計画特別委員会を設置

特別委員会は、必要に応じて特定の案件を審査するため本会議の議決により、臨時に設置される委員会です。その案件の審査が終了すれば委員会は解散します。

令和8年2月25日に総合計画特別委員会を設置しました。現在の第5次総合計画は令和8年度が最終年のため、まず第5次計画を検証し、その結果を踏まえて次期総合計画への提言を行います。総合計画は市の最上位の10年間のまちづくり計画であり、市民との意見交換会や政策提言を通じて、皆さんの声を反映した計画づくりを進めます。今後、市民の皆さんとの意見交換会も行う予定です。その際はぜひご参加いただき、ご意見をお寄せください。



議員が質した3月定例会

こんなことが決まりました！

議案第16号
大町市基金条例の一部を改正する条例制定について

結果 全会一致で可決

企業版ふるさと納税基金新設

議案の概要
企業版ふるさと納税基金の新設により、寄付金を基金に積み立て、翌年度以降の地方創生の取組みに活用する。

委員会審査

Q 企業版ふるさと納税の募集対象となる事業について説明を。

A 企業版ふるさと納税の対象となる事業とは、総合戦略に掲載された事業である。芸術祭、学校跡地の活用、山岳博物館の附属園やライチョウの飼育などが挙げられる。興味を引く事業を明確にプロジェクト化し、寄付金を集めたい。

議案第17号
大町市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例制定について

結果 賛成多数で可決

契約金額の10%以内は議決不要

議案の概要
議会の議決により締結した契約のうち、変更が必要となった場合、増額又は減額する契約金額が、変更前の契約金額の10%以内のものは、議会の議決を必要としないこととする条例改正である。

委員会審査

Q 議会への報告の有無は。

A 議会全員協議会において、定期的に報告を行う。

Q 複数回の変更契約が生じた場合の取扱いは。

A 当初契約に対し、10%を超えた段階で議決が必要となる。



新たな広聴活動への挑戦「議会モニター制度」が6月定例会から動き出します。市議会だよりは、市民に伝わるものになっているのか、市民の意見は議会で反映されているのか等々、当市の未来を担う45歳以下の若い世代の方々から率直なご意見をいただき、議会活動に活かしてまいります。

議会モニターは、女性6名、男性3名、全体で9名の応募があり、委嘱しました。

次ページは、討論と審議結果

令和8年3月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案件	日林競		無所属クラブ		根クワ		政友クラブ		峻嶺会		公無		結果	
		宮田一男	栗林陽一	大和幸久	高橋正	植松悠一郎	中牧盛登	小澤悟	山本みゆき	大竹真千子	中村直人	西澤和保	二條孝夫		一本木秀章
議案第17号	大町市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第36号	令和8年度大町市一般会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
陳情第1号	業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化を求める陳情	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択	
陳情第2号	北アルプス国際芸術祭4回目の実施について、市民や市職員の声を取り入れたうえでの見直しを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択	

◇全会一致で同意・可決された案件

議案番号	案件	結果
議案第6号	教育長の任命について	同意
議案第7号	公平委員会委員の選任について	同意
議案第8号	大町市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決
議案第9号	大町市辺地総合整備計画の策定について	原案可決
議案第10号	工事請負契約の変更契約の締結について	原案可決
議案第11号	市道路線の認定について	原案可決
議案第12号	大町市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第13号	大町市一般職の職員の給与に関する条例及び大町市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第14号	大町市職員の育児休業等に関する条例及び大町市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第15号	大町市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第16号	大町市基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第18号	大町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第19号	大町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第20号	大町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第21号	大町市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	原案可決
議案第22号	大町市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	原案可決
議案第23号	大町市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第24号	大町市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第25号	大町市営駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第26号	大町市水道事業等企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第27号	大町市公共下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第28号	大町市スポーツ施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第29号	大町市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第30号	令和7年度大町市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第31号	令和7年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第32号	令和7年度大町市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第33号	令和7年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第34号	令和7年度大町市温泉引湯事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第35号	令和7年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第37号	令和8年度大町市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第38号	令和8年度大町市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第39号	令和8年度大町市水道事業会計予算	原案可決
議案第40号	令和8年度大町市公営簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第41号	令和8年度大町市温泉引湯事業会計予算	原案可決
議案第42号	令和8年度大町市公共下水道事業会計予算	原案可決
議案第43号	令和8年度大町市農業集落排水事業会計予算	原案可決
議案第44号	令和8年度大町市病院事業会計予算	原案可決

3月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。



議案第36号 令和8年度大町市一般会計予算

原案に反対

人口減少を加速させる施策の見直しを
市街地を通過する松糸道路は人口流失を招き、保育所再編は移住定住策との整合性を欠く。(宮田 一男)

市民負担増と予算の在り方

公民館・学童保育利用料と芸術祭予算に反対。市民負担増と予算の配分に偏りが見られる点を指摘し基礎的行政サービスの充実を。(栗林 陽一)

市民の声を聴く市政を

景観配慮を無視した高規格道路市街地ルートへの押し付け。補助金削減の検証がない第4回芸術祭計画見直しを。(大和 幸久)

原案に賛成

次代を見据えた実効的予算

厳しい財政下だが、インフラ整備等で地域経済を支え、将来の負担軽減や新財源確保を見据えたメリハリある予算。(大竹 真千子)

新年度予算は地域の将来を見据えた現実的な選択である
第5次総合計画の計画達成に向けて、重点施策の着実な事業執行を期待する。(山本 みゆき)

議案第17号

大町市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案に反対

上限規程を含めた検証が必要
条例改正の必要性は理解する。制度設計を検証、精査のうえ、再提出してほしい。(植松 悠一郎)

原案に賛成

時代背景に合致せず改正が必要
資材高騰や工事の遅延の防止と、旧下請法の厳格化による無駄な補償費用は市民益に反する。(西澤 和保)

陳情第2号

北アルプス国際芸術祭4回目の実施について、市民や市職員の声を取り入れたうえで見直しを求める陳情

原案に反対

課題反映の努力を評価する
報告書等は批判に正直に答え、今後の方針としても反映されている。市民発の活動を重視した継続を望む。(中村 直人)

地域の魅力と誇りを育む芸術祭

芸術祭の開催は、地域の魅力を高め将来の可能性を広げていくための「文化的な投資」である。(太田 昭司)

原案に賛成

市民の声で芸術祭を検証

芸術祭の継続可否は、市民と職員の声を踏まえ、立ち止まって検証すべき。(栗林 陽一)

今後の議会のあり方について 話し合いませんか？

市民との意見交換会を開催します

実施日：令和8年6月1日(月) 午後6時～
参加対象：大町市全域の住民の方
場所：大町市総合福祉センター 大会議室(2階)

どのくらいの
報酬があれば、
若者も立候補を
できるのか...



お気軽にご参加ください

次ページは、みんなのひろば

みんなのひろば Vol.32

議員が市民のみなさんの声取材してつくるみんなのひろばです。
今回は海外の国から大町市へ移り住んだ人たちにインタビューしました。

海外出身の みなさん



エリック・マクドナルドさん
(72歳)
カナダ出身
(2021年から在住)

1

今、大町で色々なボランティアに取り組んでいます。特に美麻の子どもたちの学習のお手伝いなど。

2

このエリアで家を探していたら、ちょうど美麻に理想の家が見つかったから。

3

人が好き！大町にはいいひとが多い。美麻の人は「全員友達」！そして、綺麗な景色がたくさんあるところ。



シン ケチャオ
秦 克超さん
(38歳)
オーストラリア出身
(2024年から在住)

1

自国でエンジニアの仕事をしていた、今は大町でリモートで仕事をしています。

2

スキーやスノーボードが好きで大町へ来ました。大町は人混みが少なく静かで過ごしやすいです。

3

水も景色も綺麗で、森に行くと鹿や鳥など動物に会えること！特に鷹狩山が好きです。

- ①自己紹介
- ②大町を選んだ理由は？
- ③大町の好きなところは？



レグミ・ナンダ・ラージョさん(写真中央)
(58歳)
ネパール出身
(2013年から在住)

1

常盤地区でインドネパールレストランを経営しています。

2

先に松本に来ていた弟を頼って大町へ来ました。最初は「名店街」でお店をやっていました。

3

なんと言っても山！高瀬ダムからの景色は、特に故郷のネパールの山に似ています。



今回の取材では、大町市で約30年間活動を続けられている「日本語教室」(代表：川上佐貴子さん)にご協力いただきました。大変ありがとうございました。



次回6月定例会予定

- 開会 5月19日(火) 午前10時～
- 一般質問 6月3日(水) ～6月5日(金)
- 最終日 6月16日(火) 午前10時～ 討論・採決

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

本会議の
生中継

あとがき

今春、本市では統廃合を経て、新小学校二校が開校しました。学び舎の風景が変わる子、通い慣れた校舎で再出発する子、皆が新たな環境で一步を踏み出しています。
次代を担う子どもたちが、健やかに成長できるよう、議会もその歩みを全力で支えてまいります。
(大竹真千子)

議会だより編集委員

【委員長】 小澤 悟 【副委員長】 栗林陽一
【委員】 一本木秀章 太田昭司 中村直人 大竹真千子 大和幸久